

# 新製品紹介

## グループウェアポータル製品 「WorkSpice™ポータル」

PFU は Lotus Notes/Domino<sup>注1)</sup> (以降、Notes/Domino と表記) 向けのソリューション「WorkSpice™」<sup>注2)</sup>メニューを 2005 年 2 月に販売開始しました。

この「WorkSpice™」メニューは、1994 年から PFU が提供してきた Notes/Domino 関連の製品やサービスを強化して体系化したものです。

### WorkSpice™ メニュー構成

WorkSpice™ は PFU の Notes/Domino ソリューションの総称でもあり、図 - 1 の 3 つのメニューで構成されています。

#### ▶ マイグレーション・メニュー ◀

Notes/Domino バージョンアップに伴う移行に関して、企画から設計、開発、導入、運用までを支援するサービス。

#### ▶ テンプレートメニュー ◀

Notes/Domino に対応した、簡易情報ポータル

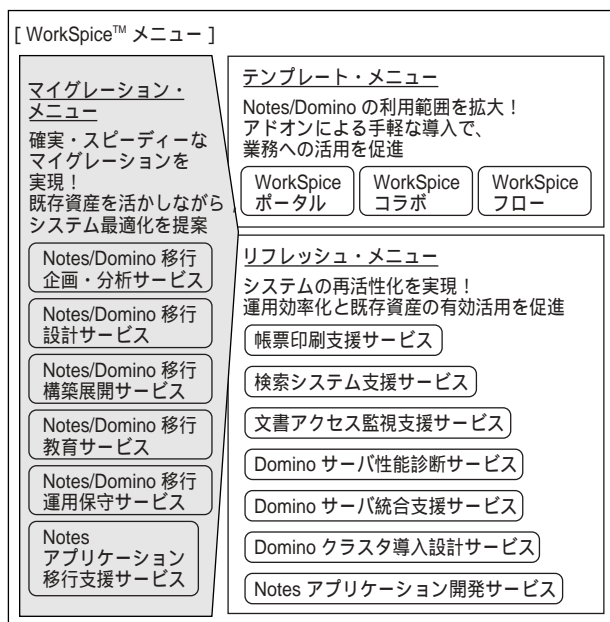


図 1 WorkSpice™ メニューの構成

注 1 ) Lotus, Lotus Domino, Lotus Notes, Notes は、IBM Corporation の商標です。

注 2 ) WorkSpice は PFU の商標です。

「WorkSpice™ポータル」、問合せ回答システム「WorkSpice™ コラボ」、ワークフローエンジン「WorkSpice™ フロー」の 3 種類のテンプレート。

#### ▶ リフレッシュメニュー ◀

Notes/Domino システムの最適化、既存資産の有効活用を支援するサービス。Domino サーバのパフォーマンス測定や、サーバの集約・高信頼化、連携製品による高品位帳票印刷・検索システム・文書アクセス監視等の各種サービスを提供。

今回は、テンプレートメニューの中でも特に好評を博している、情報の統合や有効活用、迅速なアクセスに向けた機能を備えた「WorkSpice™ポータル」についてご紹介します。

### 開発の背景

Notes/Domino を利用している多くのお客様では次の問題を抱えています。① ノウハウや技術文書などの情報を Notes/Domino に蓄積してきたが、アプリケーションやデータが増加し、欲しい情報を探し出せなくなった。② 企業内・部署内で周知したい情報が参照されず埋もれてしまう。

この問題を解決する手段として企業ポータル (EIP) に注目が集まっています。既に企業ポータルを導入済みまたは導入検討中の企業も多くありますが、これらのお客様は更に次の問題を抱えていることがわかりました。① 企業ポータル製品は、数千ユーザ規模で億単位の金額となる製品もあり、新たに高額な初期投資が必要となる場合がある。② ポータルを Web で構築したいが、そのためには既存の Notes アプリケーションを Web 対応化する改造が必要となり、改造に各々数十～千万円単位のコストがかかる。

以上のような問題を背景に、以下の内容をコンセプトとして必要十分な機能を装備した WorkSpice™ポータルを開発しました。

- ・ エントリレベルの製品 (中小規模をターゲット)
- ・ 低価格
- ・ お客様既存の Notes/Domino 環境で動作
- ・ 既存 Notes アプリケーションの改造は不要
- ・ Notes クライアント (専用 C/S 型ソフトウェア),

Web ブラウザ両方に対応

特長

▶ 既存の Notes/Domino 環境へ容易かつ短期に導入可能 ◀

WorkSpice™ポータルは Notes アプリケーションとして開発しており、他の企業ポータル製品のようにサーバ追加する必要もなく、既存の Notes/Domino 環境へそのまま導入できます。また Notes/Domino に登録しているユーザ ID・ユーザディレクトリをそのまま利用でき、他のポータル製品のような新たなユーザ管理も不要です。

▶ 既存の Notes アプリケーションの改造が不要 ◀

既存の Notes アプリケーションを Web 対応化する改造は必要ありません。WorkSpice™ポータルのトップページからコンテンツを開く際、設定に応じて Notes クライアントや Web ブラウザを起動することができます。

Notes クライアントから Web クライアントへ移行の過渡期においても WorkSpice™ポータルならば Notes 及び Web の両方のアプリケーションへ対応できます。

▶ 新着情報など欲しい情報をいち早く公開 ◀

予め指定した Notes アプリケーション及び、サイトの RSS 注3) 情報を新規にコンテンツ登録すると、その内容を自動的に WorkSpice™ポータルのトップページに表示することができます。これにより、伝えたい情報をいち早く利用者へ通知することができ、必要な情報を見落とすことがなくなりますので、企業内の情報伝達を加速することができます。

▶ さまざまなコンテンツリソースへ対応 ◀

Domino サーバ上の Notes アプリケーションのコンテンツ以外にもイントラネットの URL リンク、インターネット上の RSS フィードなど様々なリソースに WorkSpice™ポータルは対応しています。

更に Notes アプリケーションへ登録したコンテンツの更新情報を RSS として出力することができ、一般の RSS リーダーを利用して、Notes アプリケーション上の新着情報を確認することもできます。

▶ アクセス制御に対応したメニューの表示で不要な操作を排除 ◀

図 - 2 に示すトップページ画面の左メニューに登録す

るリンク設定に Notes アプリケーションを指定した場合、既存のアクセス制御情報を読み込み、ユーザ毎に権限のあるメニューのみを表示しますので、利用できない不要なメニューを操作する無駄がありません。

採用技術

WorkSpice™ポータルは Notes アプリケーションとして実装しており、Java 注4)、HTML、JavaScript、CSS 注5)などの技術を採用しています。今後の RSS 市場の活性化を意識し、RSS の全バージョン(0.9/1.0/2.0)のフォーマットにも対応しています。

開発上の工夫

▶ RSS 以外の XML 形式への対応を考慮した設計 ◀

WorkSpice™ポータル内部のコンテンツは XML 形式で管理し、RSS 以外の XML 形式のコンテンツデータへの対応を容易にできるように設計しています。

Notes アプリケーション開発では一般的に LotusScript 言語を使用しますが XML との親和性を考慮し、Java 言語で記述しています。

▶ アクセス可否情報のキャッシュによりレスポンス低下を抑制 ◀

多くのお客様ではコンテンツ毎にアクセスを制限して



図 2 WorkSpice™ポータルのトップページ画面例注6)

注3) RSS は、Rich Site Summary の略。Web サイトの記事の見出しや概要を配信するための技術です。

注4) Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

注5) CSS は、Cascading Style Sheet の略。Web コンテンツの視覚的な表現を指定するための言語です。

注6) Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

います。ポータルのトップページは各種コンテンツを複数同時に表示するため、トップページを開く際に各コンテンツのアクセス権をチェックするとレスポンスが低下します。

WorkSpice™ポータルはコンテンツ毎のアクセス可否情報をキャッシュすることでレスポンス低下を抑制しています。

### 今後の展望

企業内に氾濫している情報を効率良く通知・入手する手段として、企業ポータル製品への関心がますます高くなってきています。RSSはマイクロソフトの次期OSでも標準サポートが予定されており<sup>1)</sup>、今後大いに注目される技術であり、既にRSS対応済のWorkSpice™ポータルの引き合いも増えていくと考えています。

PFUの得意ソリューションであるNotes/Dominoや

XMLを採用したWorkSpice™ポータルを積極展開し、WorkSpice™ポータルの採用を契機に他のWorkSpice™シリーズの各種サービスの拡販を推進してまいります。

### 問い合わせ先

(株)PFU 第二システム統括部 第一システム部

Tel : 044-540-4580

E-Mail : gsc@pfu.fujitsu.com

<http://www.pfu.fujitsu.com/solution/gsc/>

#### 参考文献

1) Microsoft to Deliver RSS Support to End Users and Developers in Windows "Longhorn", Microsoft Corporation, PressPass, 2005. 6. 24.

<http://www.microsoft.com/presspass/press/2005/jun05/06-24RSSIntegrationPR.msp>